

# 福島県立医科大学々報

## 目 次

○ 学 事		
平成27年4月8日入学式学長式辞	.....	2
平成27年度入学者数	.....	3
平成26年度医学博士授与者（後期）	.....	3
○ 人 事		
新任教授等・新任准教授等・新任講師・新任事務局等	.....	4
新任あいさつ	.....	4
・ふくしま国際医療科学センター	教授 谷川 攻一	
・スポーツ医学講座	教授 大歳 憲一	
・東白川整形外科アカデミー	教授 茂呂 貴知	
・地域整形外科支援講座	教授 江尻 莊一	
・外傷学講座	教授 松下 隆	
・消化器内視鏡先端医療支援講座	教授 小原 勝敏	
・医療人育成・支援センター	教授 亀岡 弥生	
○ 諸 規 程 改 正		
平成27年2月から平成27年4月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係	.....	7
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会		
役員会	.....	10
経営審議会	.....	11
教育研究審議会	.....	11
医学部教授会	.....	11
看護学部教授会	.....	12
○ 雑 報		
寄附講座の設置について	.....	12
学生の部活動報告（準硬式野球部）	.....	14

## 学 事

### ■ 平成27年4月8日 福島県立医科大学 入学式

#### 学長式辞

福島県立医科大学 学長 菊地 臣 一

本日、福島県立医科大学大学院及び大学に入学を許可されました諸君、誠におめでとうございます。

本学は、今、原発事故という過去に例をみない惨禍との<sup>たたか</sup>斗いの最前線に立っています。

先人の叡智は、困難に直面した時、それを「悪いこと」とは嘆かず、「自らを鍛える良い機会」と捉えて、その困難と闘うことの大切さを説いています。

君達は、自分の価値観に基づき、覚悟を持って、今、ここに居るのだと、私は確信しています。

入学式とは「未来の覚悟」を表明する場です。

君達は、看護や医療のプロになる、そして史上初めての原発事故に遭遇して、人類がまだ誰も踏み入れたことのない取り組みに、何らかの形で関わっていくという覚悟を持って、この入学式に臨んでいると思います。

今日から、一人一人がこの<sup>まなびや</sup>学舎で、知識の獲得、経験、そして挫折を通じて、看護や医学を志す人間としての価値観を培っていくのです。それを獲得していくには、日々の努力が求められます。

しかも、修業では、努力の目標は「結果」ではないのです。結果を目指す「過程」が大切なのです。この点が、今まで君達が持っていたであろう認識と違う点です。プロの視点から見ると、看護や医療のプロになった人と、なるべく修業している人との差がここにあります。

今日、新たな一步を踏み出した君達、本学での出会いを大切にしてください。「<sup>あ</sup>遇うて空しく過ぐる勿れ」です。人生は出会いに尽きます。何故なら、“人生の扉は他人が開く”からです。

どの出会いが自分にとって大切かは、その時は分かりません。だからこそ、すべての出会いに真摯に向き合うことです。出会いは、自分を成長させ、そして人生を豊かにしてくれます。

「出会い」に運命的な出会いなどというものはなく、出会った後に、お互いが相手に信頼と敬意を持って接する、長い日々の営みの積み重ねが、絆をつくり、その結果が「掛け替えのない友や恩師」を作っていくのです。

これからの学びの日々、君達は制服を身に纏います。

特異な制服を着るプロとしての職業が3つあります。その一つが医療人です。

「外形は内容を規定する」という<sup>しんげん</sup>箴言に従えば、制服は

着る者に小さな覚悟を強めます。周囲は、君達に白衣を身に纏う人間に<sup>ふさわ</sup>相応しい振舞いを要求します。白衣は、君達に誇りと忍耐を求めます。白衣を身につけた瞬間から、日々、厳しい目で評価されることを覚悟して下さい。そして、プロとして、病める人に自らの持てる力の全てを捧げることを自らに誓って下さい。その事を意識して、今日からの学生生活を送って下さい。

この瞬間から、君達は「何になったか」ではなく「何をしたか」が問われるのです。

その過程では、我々は、何かを獲得しようとする時には、同じだけ何かを捨てなければなりません。その時、自分の価値観が問われます。

そこでは、自分の人生を世間の価値観に委ねてはいけません。何故なら、世間は君の人生に責任をとってはくれないからです。

学びの日々の中、君達はこれから様々な哀しみや挫折を味わう筈です。でも、恐れったり怯むことはありません。人間は、皆失敗しながら生きているのです。そのうえ、もっと酷い失敗も起こります。でも、皆自分なりのベストを尽くして、ひた向きに生きているというのが世の中です。

大切なことは、日々遭遇する、目の前の一つ一つに、逃げずに愚直に向き合うことです。

人間というものは、人生が配ってくれたカードでやっていくもので、配られたカードが悪いと愚痴をこぼしたりするものではありません。

人生こうしようああしようと計画を立てて、自分の人生を考えても、その通りになることはありません。殆ど違った方向へ行ってしまうのです。でも、大切なことは、その場その場で自分のベストを尽くすことです。

プロの医療人として君達に伝えておくことがあります。まず、「修業とは矛盾に耐えること」です。

それに耐えられなければ、看護や医療のプロとして、一人前にはなれません。「修業」の場では多少の矛盾や不条理に耐えていくことが求められます。修業や人生とは、「さまざまな厄介ごとの中を、折り合いをつけて生き抜いていく場」という認識と覚悟を持って歩んで下さい。

先輩や教師は、君達がひたむきに努力している姿をみると、君達を愛しく思い、教え育もうという熱意を持てるのです。「風を待っている軒下の風鈴」では決して鍛えられません。双方の熱意がぶつかり合って初めて、「人生の扉は他人が開く」という言葉が君達の前に<sup>あ</sup>顕れるのです。

もう一つは、「愚直なる継続」です。

これを実行するには鉄のような意志が必要です。何でもよいですから、毎日継続できるものを決めて取り組んで下さい。「愚直なる継続」は、他人とではなく、自分との斗いです。愚直なる継続を貫くには、時には、心に鎧を着せて学ぶことも求められます。

最後に、「出来ない理由を考えるより、どうしたら出来るか」という考え方に頭を切り替えることです。

自ら杵を勝手に決めると、それ以上は自分の能力を發揮できません。高い目標を先ず、設定して、それを達成するために、自分にできる全ての努力をそこに集中することで。杵は作るものではなく、結果として出来るものです。

臨床の現場では、その場面、場面で、全てが違います。人が居ない、モノが無い、出来ない理由にならないのです。我々は与えられた条件の下でしか斗えないのです。

看護や医療の現場では、寝ている人間を起こしたり、座っている人間を立たせる程の時間は、誰も持っていません。「人生は短いのではなく、実はその多くを浪費しているのだ」という古人の箴言を胸に刻んで、学びの日々を送って下さい。

福島県立医科大学の歴史的な使命に新たなページを書き足すのは、君達自身なのです。今日からの君達の精進を期待しています。

### ■ 平成27年度福島県立医科大学入学者数

#### ① 医学部新入生130名

	男	女	計
県内	32名	9名	41名
県外	67名	22名	89名
計	99名	31名	130名

#### ② 看護学部新入生84名

	男	女	計
県内	4名	58名	62名
県外	3名	17名	20名
計	7名	75名	82名

#### ③ 大学院新入生52名

	男	女	計
医学研究科(博士)4月入学	14名	8名	22名
医学研究科(修士)	1名	2名	3名
看護学研究科(修士)	0名	6名	6名
計	15名	16名	31名

### ■ 医学博士授与者

#### 平成26年度後期分医学博士授与者

氏名	学位論文名
木村 浩	Skin Autofluorescence Predicts Cardiovascular Mortality in Patients on Chronic Hemodialysis
遠藤 教子	Factors associated with enrollment and

	adherence of outpatient cardiac rehabilitation in Japan
小林 祐介	Clinicopathological significance of PAICS expression in colorectal cancer
永井 千晴	ヒト癌由来細胞株を用いた Dipeptidase 1 の局在、機能解析
松本 佳子	Enhanced expression of KIF4A in colorectal cancer was associated with histological type and lymph node metastasis
佐藤 友美	MRI による癒着胎盤の異常所見の検討
浅野 聡子	Temporal integration of speech sound probed with mismatch negativity
菅野 千敬	LXR アゴニストはコレステロール排出を促進して口腔扁平上皮癌細胞の細胞増殖を抑制する
大橋 威信	ブレオマイシン誘導性皮膚硬化モデルマウスにおけるリゾホスファチジン酸阻害薬 (LPA1,3) の抗線維化効果
小柳由利子	卵由来ヒストンメチル化酵素 DOT1L は受精後第一分裂における染色体配分を制御する
浅野 智之	NPSLE 患者の髄液中補体第3成分 (C3) と炎症マーカーに関する検討
菅野 真理	Distant organ injury following unilateral renal ischemia-reperfusion in hypertensive Dahl salt-sensitive rats and the ameliorating effect of rosuvastatin pretreatment
半田 隼一	The effect of duloxetine, a serotonin noradrenaline reuptake inhibitor (SNRI) on the neuropathic pain induced by nucleus pulposus on the nerve root in rats
五十嵐 崇	心拍動下冠動脈バイパス術における僧帽弁突のデザリングは心脱転に伴う乳頭筋変位と関連する：ブタモデルにおける3次元心エコー図法による僧帽弁装置の形態学的変化の評価
菅野 幸紀	Choroidal thickness outside the laser irradiation area after photodynamic therapy in polypoidal choroidal vasculopathy
矢部みゆき	Effects of Storytelling on the Childhood Brain : Near-infrared Spectroscopic Comparison with the Effect of Picture-book Reading
中村 裕一	High mobility group box 1 promotes angiogenesis from bone marrow-derived endothelial progenitor cells after myocardial infarction
原田 佳代	Dysregulation of the let-7/HMGA2 axis with methylation of the p16 promoter in myeloproliferative neoplasms
森 隆史	Subfoveal Choroidal Thickness and Axial Length in Preschool Children with Hyperopic Anisometropic Amblyopia

鈴木 玲 Endoscopic ultrasound-assisted direct peritoneal visualization with a small-caliber scope-a proof of concept study in a swine model

## 人 事

(平成27年4月30日現在)

### ◎新任教授等

- 採用 H27.4.1 ふくしま国際医療科学センター  
教授 谷川 攻一
- 採用 H27.4.1 スポーツ医学講座 教授 大歳 憲一
- 採用 H27.4.1 東白川整形外科アカデミー  
教授 茂呂 貴知
- 採用 H27.4.1 地域整形外科支援講座 教授 江尻 莊一
- 採用 H27.4.1 外傷学講座 教授 松下 隆
- 採用 H27.4.1 消化器内視鏡先端医療支援講座  
教授 小原 勝敏
- 昇任 H27.4.1 医療人育成・支援センター  
教授 亀岡 弥生

### ◎新任准教授等

- 採用 H27.4.1 人工透析センター 准教授 寺脇 博之
- 採用 H27.4.1 研究推進戦略室 准教授 増井誠一郎
- 採用 H27.4.1 肺高血圧先進医療学講座  
准教授 杉本 浩一
- 採用 H27.4.1 疼痛医学講座 准教授 高橋 直人
- 採用 H27.4.1 白河総合診療アカデミー  
准教授 東 光久
- 採用 H27.4.1 外傷学講座 准教授 竹中 信之
- 採用 H27.4.1 生活習慣病・慢性腎臓病(CKD)病態治療学講座  
准教授 旭 浩一
- 採用 H27.4.1 放射線医学県民健康管理センター  
特命准教授 後藤 沙織
- 採用 H27.4.1 放射線医学県民健康管理センター  
特命准教授 矢萩 真帆
- 昇任 H27.4.1 輸血・移植免疫学講座 准教授 池田 和彦
- 昇任 H27.4.1 附属放射性同位元素研究施設  
准教授 關亦 正幸
- 昇任 H27.4.1 家族看護学部門 准教授 古橋 知子
- 昇任 H27.4.1 内視鏡診療部 准教授 引地 拓人
- 昇任 H27.4.1 (会)耳鼻咽喉科学講座  
科部長 横山 秀二

### ◎新任講師

- 採用 H27.4.1 臓器再生外科学講座 講師 丸橋 繁
- 採用 H27.4.1 甲状腺内分泌学講座 講師 鈴木 聡
- 採用 H27.4.1 放射線医学県民健康管理センター  
特命講師 吉井 淳治

- 採用 H27.4.1 スポーツ医学講座 講師 神山 美之
- 採用 H27.4.1 白河総合診療アカデミー 講師 宮下 淳
- 採用 H27.4.1 白河総合診療アカデミー 講師 高田 俊彦
- 採用 H27.4.1 外傷学講座 講師 加藤 成隆
- 採用 H27.4.1 (会)外科学講座 科長 押部 郁朗
- 採用 H27.4.1 (会)整形外科・脊椎外科学講座  
科長 福田 宏成

### ◎新任事務局等

- 転入 H27.4.1 事務局 事務局次長(総務) 河原田浩喜
- 転入 H27.4.1 事務局 事務局参事 引地 敬
- 転入 H27.4.1 企画財務課 課長 國分 守
- 転入 H27.4.1 復興事業推進課 課長 齋藤 善護
- 転入 H27.4.1 健康調査課 課長 穴戸 哲也
- 転入 H27.4.1 教育研修支援課 課長 橋本 雅之
- 発令 H27.4.1 (会)事務局  
事務局次長(総務)兼総務課長 熊谷 光彦
- 発令 H27.4.1 (会)事務局  
事務局次長(業務)兼企画経営室長 安藤 保寛

## ■ 新任あいさつ



### 教授就任のご挨拶

ふくしま国際医療科学センター  
教授 谷川 攻一

昨年4月に広島大学との兼務にて副学長(ふくしま国際医療科学センター副センター長)を拝命しておりましたが、本年3月で広島大学を退職し、4月から正式職員として本学にお世話になっております。晴れて福島県民となりましたが、福島で生活する中、原発事故の社会的な影響の大きさを改めて実感しているところです。

現在、副学長(業務担当)、ふくしま国際医療科学センター総括副センター長、放射線医学県民健康管理センター副センター長を務めていますが、まだまだ慣れないことも多く、阿部正文総括副学長、大戸斉副理事長、竹之下誠一復興担当理事から直々のご指導を頂きながら業務を進めております。

ふくしま国際医療科学センターとして最初に取り組んでいることは、新聞社や放送局等のメディアへの広報を通じて、県民への理解を広めることです。また、今後の競争的研究資金獲得の基盤とすべく、文部科学省が進める共同利用・共同研究拠点事業へ「放射線災害・医科学研究拠点」として認定申請をしています。

現在、福島原発事故の教訓に基づいて新たな原子力災害

医療体制が整備されようとしています。震災後4年間で培った貴重な経験を礎として、本学が我が国の中核的被ばく医療施設となるべく「高度被ばく医療支援センター」「原子力災害医療総合支援センター」指定を目指して鋭意準備しているところです。

皆様にはこれまで以上にお世話になることと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。



### 教授就任のご挨拶

スポーツ医学講座  
教授 大 歳 憲 一

平成27年4月1日付けでスポーツ医学講座教授を拝命いたしました。私は、平成9年に当大学を卒業後、当大学整形外科学講座に入局し、平成21年から大学病院でスポーツ外来を担当させていただいておりました。本講座は、私を含め整形外科医2名と循環器内科医1名の3名で構成されている小規模な講座ではございますが、福島のスポーツ界を医療側からサポートし、福島県のスポーツの発展に貢献することを目指しております。御協力のほどよろしくお願いいたします。

福島県は県土の広さから、医療水準の地域間格差が大きいのが現状です。本講座では、県内各地域の医療機関と連携し、ネットワークを広げることで、県内のスポーツ診療に関する医療レベルの向上と平均化を図って行きたいと考えております。また、前職の頃から選手のコンディショニングの向上や傷害予防を目的に、県内各地域で検診やメディカルチェックを開催して参りました。今後も、各地域の医療機関や競技団体と連携しながら、同様の活動を継続していきたいと考えております。このような活動を通じて得られたデータを解析し、得られた知見を現場に積極的に還元・普及させることで、県民のスポーツレベル向上と健康度の向上に貢献したいと考えております。

まだ講座も開設したばかりで、課題は山積しておりますが、福島から世界に向けて発信できるような活動や研究を行っていきたくと考えております。今後も御指導、御協力のほどよろしくお願いいたします。



### 教授就任のご挨拶

東白川整形外科アカデミー  
教授 茂 呂 貴 知

このたび、福島県立医科大学医学部東白川整形外科アカデミー教授を拝命致しましたのでご挨拶申し上げます。

東白川整形外科アカデミーは、福島厚生連と東白川郡の寄付により平成27年4月1日付けで塙厚生病院内に開設されました。当講座を地域医療支援講座の一つとするならば、医療過疎に悩む東白川地区の運動器疾患症例の診療業務を、塙厚生病院整形外科医師として行うことが講座設置の主な目的と考えられますが、アカデミーという名称を「研究機関」と考えるならば、なんらかの医学研究をすることが主目的となります。まず何らかの研究をし、学会発表を行い、論文を執筆しながら、その間に診療業務を行うといった業務形態をいずれ構築できればと思います。

肩書きにふさわしい実績も何も無く、甚だ浅学非才の身ではありますが、東白川地区の地域医療に貢献するとともに、「結果」を出すべく精進努力して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



### 教授就任のご挨拶

地域整形外科支援講座  
教授 江 尻 荘 一

平成27年4月1日付けで地域整形外科支援講座教授を拝命いたしました。本講座の主要な目的は、四肢外傷医の不足にあえぐいわき市に常勤医を増員し、四肢外傷の治療体制を改善することです。

これまでいわき市では、人口32万人に対して整形外科勤務医が20人弱と全国平均値を著しく下回っておりました。さらに、今年度から福島労災病院の整形外科医退職にともない、四肢外傷医はさらに減少します。また、いわき市では腕神経叢損傷や切断四肢再接着などの重度四肢外傷の治療が可能な整形外科医が不在でした。

本講座の設置により、マイクロサージャリーによる重度四肢外傷の機能再建が可能な医師2名と脊椎外傷医1名が、いわき市立磐城共立病院に増員されます。これによっていわき市の重度四肢外傷治療体制を改善し、患者の機能予後や生命予後を向上させることが我々の最終目標です。

私は平成3年に本学卒業後、本学整形外科に入局し、菊地教授（現理事長）に大変厳しく御指導いただきました。

平成11年には、腕神経叢損傷治療の第一人者である山口県小郡第一総合病院の土井一輝院長のもとで、手外科・マイクロサージャリーの研鑽を積み、その後15年間本学で外傷などの機能再建に邁進してきました。今度はその経験を、故郷であるいわき市のために活かす使命感に燃えております。

皆様には今後も御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



### 教授就任のご挨拶

外傷学講座

教授 松下 隆

福島県の外傷治療を世界のトップレベルにしたいと考え本学に赴任しました。日本の医療レベルは世界のトップだと考えられていますが、それは疾病についてだけであり外傷の治療は大きく立ち遅れています。多くの先進国では、外傷専門医が24時間体制で交代勤務しどんな外傷もいつでも受け入れる外傷センター網があり、ドクターヘリを活用して10分以内に現場での治療を開始し、30分以内に外傷センターに搬送して本格的治療を開始しています。これに対してわが国では疾病も外傷も救命救急センターが対応しており、多発外傷も開放骨折も患者を救急車に収容してから搬送先を探しているのが実情です。長時間収容先が見つからなかったり搬送した救急病院に外傷専門医がいないということも珍しくありません。外傷患者の治療は救命だけでなく運動機能を回復させることが極めて重要であり、救命のための治療と平行して、機能回復のための治療やリハビリテーションを開始する必要があります。外傷の治療成績は外科医の技量と治療の迅速さのみによって決まりますので、外傷専門医を散在させるより集約して万全の治療体制を整え、患者をいかに短時間でそこに搬送するかの工夫をする方が効果的です。外傷治療の最も進んでいるドイツでは半径約50kmに一ヶ所“レベル1外傷センター”が設置されています。福島県は郡山から半径50kmの円を描けばほぼ全域をカバーすることができます。郡山にドイツ並みの外傷センターを作りドクターヘリを配置すれば福島県の外傷治療を世界のトップレベルにできると考えています。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



### 教授就任のご挨拶

消化器内視鏡先端医療支援講座

教授 小原 勝敏

平成27年4月1日付けで、消化器内視鏡先端医療支援講座教授に就任した小原でございます。私は昭和50年3月に本学を卒業後、旧第二内科（現、消化器・リウマチ膠原病内科学講座）に入局し、約30年間消化器内科に関する診療、教育、研究に携わって参りました。平成17年10月に内視鏡診療部が新設され、初代部長として、各診療科での内視鏡診療を統括し、診療体系の構築や優れた内視鏡医、とくに内視鏡専門医・指導医の育成に力を注ぎ、また新しい内視鏡治療手技の開発や改良などに努めて参りました。その後、平成27年3月31日に約10年間勤めてきた内視鏡診療部を退任いたしました。

内視鏡診療、とくに内視鏡治療の進歩は目覚ましく、当院でも消化器疾患患者に高度な内視鏡医療を提供してきましたが、内視鏡治療においては常に偶発症と背中合わせの状態であり、確かな技術と知識の修得が必要とされます。起こり得る合併症を未然に防止しながら、より安全かつ効果的な治療法の開発や現存の治療手技の改良に取り組み、それらを広く普及させることで、消化管出血などから患者の命を守る救命内視鏡にも対応できる内視鏡医を育てることを目指しております。さらには、難治性疾患である門脈血行異常症（特発性門脈圧亢進症、肝外門脈閉塞症、バッドキアリー症候群）の研究を推進することが、本講座設置の目的と考えております。

福島県立医科大学で40年間育てていただいた御恩に報いるために、本講座において福島県における内視鏡診療のレベルアップおよび先端内視鏡医療の普及、そして優れた内視鏡医の育成のために力を注いでいきたいと思います。



### 就任のご挨拶

医療人育成・支援センター 医学教育部門

教授 亀岡 弥生

平成27年4月1日付けで医療人育成・支援センター 医学教育部門長を拝命致しました。

これまで本学の第一内科、輸血部、薬理学講座に所属し、各々の立場で現場の教育に携わってきました。自分の行う一つ一つの教育行為の全体の中での役割、効果は暗中模索、個人の経験・良識・信念といったものを羅針盤としていた

ように思います。

国際認証に向けた医学教育改革が全国で進められており、本学でも72週の臨床実習期間を確保するため、実習前のカリキュラムを有機的に統合する作業が既に始まっています。今後医学教育では、従来の基準「何を教育したか」ではなく「学生が何を身に着けたのか（アウトカム）」が問われ、それを大学自身が検証して自らの教育にフィードバックしていくシステムを作り上げることが、改革の究極の目的だと認識しております。個人に任されていた教育から、大学の理念を共有する教育へ進んでいきます。しかし一方、プロセスがアウトカムにもたらす影響は時に限定的であることに加え、教育成果が全てアウトカムとして定量可能とは限らないところに難しさがあり、臨床家養成専門学校化する過程でそぎ落とさざるを得ないものの価値も無視できません。学生の知的好奇心を育み、様々な可能性の扉を開く勇気を学生から引き出すために、福島医大の教育の在り方を皆様と共に考え、具現化に尽力していきたくと思います。ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

## 諸規程改正

### ■ 平成27年2月から平成27年4月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係

- 「公立大学法人福島県立医科大学県民健康調査論文推進アドバイザー設置要綱」の制定について  
(平成26年12月1日制定・平成26年12月1日施行)  
「論文推進アドバイザー」の設置及びその運用について必要な事項が定められました。
- 「福島県立医科大学医学部同窓会卒業時表彰受賞候補者推薦内規」の一部改正について  
(平成27年1月22日制定・平成27年1月22日施行)  
福島県立医科大学医学部同窓会表彰規程の改正に伴い、「候補者の要件等」及び「候補者の選出方法」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員特殊勤務手当細則」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年2月1日施行)  
夜間等特殊業務手当の対象に臨床工学センターが追加されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年2月1日施行)  
臨床工学センターに2交代制が導入されたことに伴い、「勤務時間等の特例」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学附属病院院内急変対応システム(RRS)運営委員会内規」の制定について  
(平成27年2月1日制定・平成27年2月1日施行)  
院内急変対応システム(RRS)運営委員会に係る必要な事項が定められました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員就業規則」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年2月25日施行)  
配偶者同行休業制度の新設に伴い、「育児休業、育児部分休業、修学部分休業、高齢者部分休業、自己啓発等休業、介護休業及び配偶者同行休業」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員服務規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年2月25日施行)  
配偶者同行休業制度の新設に伴い、「育児休業、育児短時間勤務、育児部分休業、自己啓発等休業、介護休業及び配偶者同行休業の手続」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員の育児休業等に関する規程」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年2月25日施行)  
配偶者同行休業制度の新設に伴い、配偶者同行休業に係る規定が追加されました。
- 「福島県立医科大学主任教授等選考管理委員会規程」の制定について  
(平成27年2月25日制定・平成27年2月25日施行)  
福島県立医科大学主任教授等選考管理委員会の設置等に関して必要な事項が定められました。
- 「福島県立医科大学学生相談室運営要綱」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年3月5日施行)  
大学組織の再編に伴い、「運営」及び「職員」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学体育施設使用内規」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年3月5日施行)  
大学組織の再編に伴い、「施設別事項」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学医学部学生等授業等事故事務処理について(内規)」の一部改正について  
(平成18年7月5日制定・平成27年3月5日施行)  
大学組織の再編に伴い、「事故発生状況調査」、「行政処分等の報告義務」及び「庶務」に係る規定等が改正されました。
- 「福島県立医科大学学生部懇談会要綱」の一部改正について  
(平成20年3月24日制定・平成27年3月5日施行)  
大学組織の再編に伴い、「組織」及び「庶務」に係る

規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学障がい学生修学支援規程」の一部改正について

(平成24年2月20日制定・平成27年3月5日施行)

大学組織の再編に伴い、「支援実施体制」及び「事務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学研修生(実地修練)規程」の一部改正について

(平成25年1月16日制定・平成27年3月5日施行)

大学組織の再編に伴い、「事務等」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学教員の任期に関する規程」の一部改正について

(平成21年1月16日制定・平成27年3月10日施行)

「任期を定めて雇用する教員の組織等」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学東北がんプロフェッショナル養成プラン運営委員会規程」の一部改正について

(平成20年9月1日制定・平成27年3月11日施行)

組織改正に伴い、「庶務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター整備運営本部要綱」の一部改正について

(平成24年11月20日制定・平成27年3月17日施行)

ふくしま国際医療科学センター運営委員会に係る規定が改正されました。

○「ふくしま国際医療科学センター運営委員会内規」の制定について

(平成27年3月17日制定・平成27年3月17日施行)

ふくしま国際医療科学センター運営委員会に関して、必要な事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学財務会計事務の委任に関する要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月18日施行)

「目的」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学予算細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月18日施行)

文言表記を会計規程と統一させることに伴い、「予算編成方針」、「年度計画予算の配分」、「予算単位内の予算配分」及び「追加配分」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学契約細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月18日施行)

「長期継続契約」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学看護学部ティーチング・アシスタント制度実施要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月18日施行)

組織改正に伴い、「庶務」に係る規定が改正されまし

た。

○「福島県立医科大学大学院看護学研究科委員会規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月18日施行)

組織改正に伴い、「庶務」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学大学院看護学研究科表彰規程」の一部改正について

(平成22年2月26日制定・平成27年3月18日施行)

組織改正に伴い、「庶務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学附属病院患者等相談等受付要領」の一部改正について

(平成17年5月18日制定・平成27年3月19日施行)

「相談等受付担当者及び担当内容」に係る規定が改正されました。また、「医療事故防止対策委員会との連携」に係る規定が追加されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学経理細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月19日施行)

文言表記を会計規程と統一させることに伴い、「印章の保管及び押印」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学資金管理細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月19日施行)

「趣旨」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学学生寮規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月20日施行)

「寮費等」及び「事務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会計規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月20日施行)

「予算編成」、「落札の方式」及び「金融機関等との取引」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学学生寮建設寄附金取扱細則」の一部改正について

(平成25年6月19日制定・平成27年3月20日施行)

組織改正に伴い、「収納等」及び「庶務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学学生寮整備等寄附金取扱細則」の制定について

(平成27年3月20日制定・平成27年3月20日施行)

学生寮の整備等に要する寄附金の受け入れ及び経理事務の取扱いに関して必要な事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学寄附講座に関する規程」の一部改正について

(平成20年10月1日制定・平成27年3月25日施行)

部局長等に地域医療支援センター長及び臨床研究イノベーションセンター長が追加されました。また、延長、

申請及び講座主任に係る規定が追加されました。

○「福島県立医科大学附属病院児童虐待対応委員会設置要綱」の一部改正について

(平成25年2月12日制定・平成27年3月30日施行)

児童虐待対応委員会の通称が設定されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員給与規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年3月31日施行)

「初任給及び昇級等の基準」、「通勤手当」、「単身赴任手当」、「管理職員特別勤務手当」及び「特定の職員についての適用除外」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学准職員及び非常勤職員給与規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「通勤手当」及び「夜間等特殊勤務手当」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員退職手当規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「退職手当の調整額」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学役員報酬規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「基本給の特例」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学諸料金規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

会津医療センター託児料及び鍼灸施術所施術料に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学大学院看護学研究科履修規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

授業科目の必修・選択区分の変更に伴い、別表1が改正されました。

○「福島県立医科大学医学部履修規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

平成27年度入学生から適用する新カリキュラムへの変更及び科目名の変更等に伴い、「開設授業科目」及び別表等が改正されました。

○「福島県立医科大学掲示物取扱要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

医療人育成・支援センター及び男女共同参画室の専用掲示板が設置されたことに伴い、「掲示板の種類等」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「目的」、「責務」、「申請手続き及び判定の通知等」、「委員会の議事」、「迅速審査」、「委員等の秘密義務」、「有害事象発生時の対応」、「報告義務」、「教育・研修」、「審査資料の保管期間」、「試料及び情報等の保管」、「モニタリング及び監査」、「点検及び評価」及び「専門委員」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学組換え DNA 実験安全管理規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「組換え DNA 実験計画申請書」及び「組換え DNA 実験結果報告書」が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学事務決裁規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

別表に「ふくしま国際医療科学センター総括副センター長」が追加されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「職の名称及び種類等」に係る規定及び別表が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学職員特殊勤務手当細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「夜間等特殊業務手当」、「病院等特殊業務手当」及び「手当を併給できる場合の支給額等」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学病院助手就業規則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「夜間等特殊勤務手当」及び「病院等特殊業務手当」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学専攻医就業規則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年4月1日施行)

「夜間等特殊勤務手当」及び「病院等特殊業務手当」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学総合科学系教員体制等検討委員会規程」の一部改正について

(平成23年8月1日制定・平成27年4月1日施行)

「委員及び委員長の選任」、「成立」及び「庶務」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター専門委員会規程」の一部改正について

(平成23年9月1日制定・平成27年4月1日施行)

「組織」及び「議長」に係る規定が改正されました。

- 「公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理実施本部要綱」の一部改正について  
(平成23年9月1日制定・平成27年4月1日施行)  
「組織等」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター放射線医学県民健康管理センター規程」の一部改正について  
(平成23年9月1日制定・平成27年4月1日施行)  
「組織」及び「専門委員会等」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター教員適任者選考規程」の廃止について  
(平成23年9月1日制定・平成27年4月1日廃止)
- 「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターに関連する講座の教授適任者選考要綱」の廃止について  
(平成24年11月21日制定・平成27年4月1日廃止)
- 「福島県立医科大学医学部教務委員会規程」の一部改正について  
(平成27年2月23日制定・平成27年4月1日施行)  
医療人育成・支援センターの臨床医学教育研修部門から委員を配置することに伴い、「組織等」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規程」の一部改正について  
(平成24年12月1日制定・平成27年4月1日施行)  
宅地建物取引業法及び福島県個人情報保護条例の改正に伴い、「本人等の証明に必要な書類」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学企画広報戦略本部要綱」の一部改正について  
(平成26年4月1日制定・平成27年4月1日施行)  
本部内に「国際交流部会」が新たに設置されました。
- 「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターに関連する講座の主任教授適任者選考規程」の制定について  
(平成27年4月1日制定・平成27年4月1日施行)  
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターに関連する講座の主任教授適任者の選考に関して、必要な事項が定められました。
- 「福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター教員適任者資格審査委員会規程」の制定について  
(平成27年4月1日制定・平成27年4月1日施行)  
福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターの教員適任者の採用並びに昇任に関する事項が定められました。
- 「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正について  
(平成18年4月1日制定・平成27年4月13日施行)  
大学院看護学研究科の収容定員が30名から20名に削減されました。

## 役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

### ■ 役員会

【平成27年2月25日 第12回役員会】

#### ○寄附講座の設置

次のとおり、2つの新たな寄附講座を設置することが承認された。

- ① (名称)  
東白川整形外科アカデミー  
(設置期間)  
平成27年4月～平成32年3月 (5年間)  
(研究テーマ)  
整形外科疾患における効果的・効率的な医療供給体制の確立
- ② (名称)  
疼痛医学講座  
(設置期間)  
平成27年4月～平成32年3月 (5年間)  
(研究テーマ)  
慢性の痛みの要因の多面的評価と新たな治療法の開発

【平成27年3月25日 第13回役員会】

#### ○寄附講座の設置

次のとおり、5つの新たな寄附講座を設置することが承認された。

- ① (名称)  
周産期・小児地域医療支援講座  
(設置期間)  
平成27年4月～平成32年3月 (5年間)  
(研究テーマ)  
周産期・小児医療支援システムの構築と地域密着型後期研修プログラムの研究及び開発
- ② (名称)  
地域整形外科支援講座  
(設置期間)  
平成27年4月～平成32年3月 (5年間)  
(研究テーマ)  
整形外科四肢外傷の治療に関する研究
- ③ (名称)  
外傷学講座  
(設置期間)  
平成27年4月～平成32年3月 (5年間)

(研究テーマ)

外傷データベースの構築と外傷データベースを用いた外傷治療成績評価法の確立及びPET-CTを用いた骨関節感染症の診断法の確立

④ (名称)

消化器内視鏡先端医療支援講座

(設置期間)

平成27年4月～平成32年3月(5年間)

(研究テーマ)

消化器内視鏡先端医療の支援、新たな医療機器の開発、門脈血行異常症の研究

⑤ (名称)

スポーツ医学講座

(設置期間)

平成27年4月～平成32年3月(5年間)

(研究テーマ)

スポーツ外傷・傷害に関する研究

## ■ 経営審議会

【平成27年3月10日 平成26年度第4回経営審議会】

○平成27年度法人当初予算について

平成27年度法人当初予算案について諮られ、原案のとおり承認された。

## ■ 教育研究審議会

【平成27年3月10日 平成26年度第4回教育研究審議会】

○名誉教授称号の授与について

本年3月31日付けで退任される渡辺毅教授、宍戸文男教授、小林恒夫教授、林正幸教授に対し、名誉教授称号の授与が決定された。なお、称号の授与日については、本年の4月1日付けとされた。

○平成27年度年度計画(案)について

平成27年度年度計画(案)が諮られ、原案のとおり承認された。

○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

大学院看護学研究科の入学定員の減に伴う大学院学則の一部改正を行うことについて諮られ、原案のとおり承認された。

## ■ 医学部教授会

【平成27年3月18日 定例教授会】

○組換えDNA実験安全委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

- ・自然科学に関係する者
  - 和栗教授(解剖・組織学講座)
  - 松岡教授(自然科学講座(生物学))

関口特任教授(実験動物研究施設)

坂本講師(薬理学講座)

富川講師(基礎病理学講座)

池田講師(循環器・血液内科学講座)

・人文社会科学に関係する者

福田准教授(人間科学講座(人文社会科学))

・予防医学等に関係する者

山本准教授(感染制御医学講座)

○研究用微生物安全管理委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

・研究用微生物を取り扱う者

錫谷教授(微生物学講座)

金光教授(感染制御医学講座)

・予防医学等に関係する者

早川准教授(衛生学・予防医学講座)

・組換えDNA実験安全委員会委員

富川講師(基礎病理学講座)

・動物実験委員会委員

関口特任教授(実験動物研究施設)

○平成27年度医学部教務委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

竹石恭知教授(循環器・血液内科学講座)

小島祥敬教授(泌尿器科学講座)

志村清仁教授(自然科学講座)

以上3名の任期は、平成27年4月1日から2年間

永福智志教授(システム神経科学講座)

関根英治教授(免疫学講座)

千葉英樹教授(基礎病理学講座)

大平哲也教授(疫学講座)

大竹徹教授(器官制御外科学講座)

矢吹省司教授(整形外科学講座)

矢部博興教授(神経精神医学講座)

橋本優子教授(病理病態診断学講座)

志村浩己教授(臨床検査医学講座)

藤野美都子教授(人間科学講座)

以上10名の任期は、平成27年4月1日から1年間

○平成27年度医学部入試委員会委員の選任について

次のとおり選出された。

関根英治教授(免疫学講座)

細矢光亮教授(小児科学講座)

山本俊幸教授(皮膚科学講座)

小島祥敬教授(泌尿器学講座)

鈴木義行教授(放射線腫瘍学講座)

岡田達也教授(自然科学講座)

以上6名の任期は、平成27年4月1日から2年間

竹石恭知教授(循環器・血液内科学講座)

※健康診断担当

挾間章博教授(細胞統合生理学講座)

坂井晃教授(放射線生命科学講座)

石川徹夫教授（放射線物理化学講座）  
 矢吹省司教授（整形外科学講座）  
 石龍鉄樹教授（眼科学講座）  
 志村清仁教授（自然科学講座）  
 松岡有樹教授（自然科学講座）  
 本間 好教授（生体物質研究部門）  
 以上9名の任期は、平成27年4月1日から1年間

■ 看護学部教授会

【平成27年3月17日 定例教授会】

- 組換え DNA 実験安全委員会委員の推薦について  
 生命科学部門の森准教授が推薦された。
- 研究用微生物安全管理委員会委員の推薦について  
 生命科学部門の森准教授が推薦された。

雑 報

■ 寄附講座の設置について

本学では平成27年4月1日に、下記の寄附講座を開設しました。

- 名 称  
 白河総合診療アカデミー
- 設置期間  
 平成27年4月1日～平成32年3月31日
- 寄附者  
 福島県厚生農業協同組合連合会
- 設置場所  
 福島県白河市豊地上弥次郎2番地1  
 （JA福島厚生連 白河厚生総合病院）
- 研究体制  
 講座主任 福原 俊一  
 准教授 東 光久  
 講 師 宮下 淳  
 講 師 高田 俊彦  
 助 手 林 理生
- 研究テーマ  
 総合診療領域の臨床研究  
 地域住民の疾病発症予防や健康寿命の延伸に資する研究
- 名 称  
 肺高血圧先進医療学講座
- 設置期間  
 平成27年4月1日～平成30年3月31日

- 寄附者  
 アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社
- 設置場所  
 福島県福島市光が丘1番地  
 （公立大学法人福島県立医科大学内）
- 研究体制  
 講座主任 竹石 恭知  
 准教授 杉本 浩一
- 研究テーマ  
 肺高血圧症の基礎研究と福島県内のデータベース構築
- 名 称  
 生活習慣病・慢性腎臓病（CKD）病態治療学講座
- 設置期間  
 平成27年4月1日～平成30年3月31日
- 寄附者  
 大正富山医薬品株式会社 富士通株式会社  
 帝人ファーマ株式会社 興和創薬株式会社  
 協和発酵キリン株式会社 その他4社
- 設置場所  
 福島県福島市光が丘1番地  
 （公立大学法人福島県立医科大学内）
- 研究体制  
 講座主任・特任教授 旭 浩一  
 特任教授 渡辺 毅  
 教 授 中山 昌明  
 准教授 佐藤 博亮  
 助 教 田中 健一
- 研究テーマ  
 CKD並びに生活習慣病の発症・重症化予防のための地域保健医療連携システムと多因子・集約的治療の開発
- 名 称  
 東白川整形外科アカデミー
- 設置期間  
 平成27年4月1日～平成32年3月31日
- 寄附者  
 福島県厚生農業協同組合連合会
- 設置場所  
 福島県福島市光が丘1番地  
 （公立大学法人福島県立医科大学内）
- 研究体制  
 講座主任 紺野 慎一  
 教 授 茂呂 貴知  
 助 手 中村結香子
- 研究テーマ  
 整形外科疾患における効果的・効率的な医療供給体制の確立

<p>○名 称 疼痛医学講座</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 福島県厚生農業協同組合連合会</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任 矢吹 省司 准教授 高橋 直人 特任准教授 笠原 諭</p> <p>○研究テーマ 慢性の痛みの要因の多面的評価と新たな治療法の開発</p>	<p>○研究テーマ 外傷データベースの構築と外傷データベースを用いた外傷治療成績評価法の確立及びPET-CTを用いた骨関節感染症の診断法の確立</p> <p>○名 称 スポーツ医学講座</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 一般財団法人脳神経疾患研究所</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任・教授 大歳 憲一 講 師 神山 美之 助 手 加賀 孝弘</p> <p>○研究テーマ スポーツ外傷・傷害に関する研究</p>
<p>○名 称 地域整形外科支援講座</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 いわき市立総合磐城共立病院</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任 紺野 慎一 教 授 江尻 荘一 助 手 志田 努 助 手 川崎 有希</p> <p>○研究テーマ 整形外科四肢外傷の治療に関する研究</p>	<p>○名 称 消化器内視鏡先端医療支援講座</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 一般財団法人脳神経疾患研究所</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任・教授 小原 勝敏 特任准教授 斎藤 文子</p> <p>○研究テーマ 消化器内視鏡先端医療の支援、新たな医療機器の開発、門脈血行異常症の研究</p>
<p>○名 称 外傷学講座</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 一般財団法人脳神経疾患研究所</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任 紺野 慎一 教 授 松下 隆 准教授 竹中 信之 講 師 加藤 成隆 助 手 高木 基行 助 手 原田 将太</p>	<p>○名 称 周産期・小児地域医療支援講座(更新)</p> <p>○設置期間 平成27年4月1日～平成32年3月31日</p> <p>○寄附者 須賀川市(鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町)</p> <p>○設置場所 福島県福島市光が丘1番地 (公立大学法人福島県立医科大学内)</p> <p>○研究体制 講座主任 細矢 光亮</p>

教授 藤森 敬也  
 教授 桃井 伸緒  
 助手 河村 真

○研究テーマ

周産期・小児医療支援システムの構築と地域密着型後期研修プログラムの研究及び開発

■ 学生の部活動報告

『野球が楽しい！』

準硬式野球部主将 医学部4年 新妻 健

初めに、福島医大の野球部の歴史について説明します。野球部の歴史は長く、昭和30年度卒の大和田英男先生を中心として創部されました。グラウンドも練習器具もない中からのスタートだったそうです。しかし現在は、県内の強豪高校でも持っていないような外野天然芝の球場があり設備にも恵まれています。さらに、近年、バッティングゲージやアイシングセットも買っていただきました。またOBの先生の方々が実際にグラウンドに足を運んでくださり、技術向上のためにいろいろなお指導やご協力をしてくださっています。こんなにも環境に恵まれて野球ができてるのは、いつも野球部のことを気にかけてくださっているOB、OGの方々、日頃様々な面から支援して下さる後援会や教育研修支援課をはじめとする皆様のおかげです。本当に

ありがとうございます。

現在の野球部は、プレーヤー26名、マネージャー9名で活動しています。主な活動内容は、東北準硬式野球連盟による春・秋のリーグ戦と関口杯、8月に行われる東医体に出場することです。野球以外にもバーベキュー、スキー合宿、飲み会など様々な行事も行っています。最近の大会成績は、昨年の東医体では3年連続で準優勝をする事が出来ました。秋季リーグ戦では準優勝、関口杯ではベスト16という結果を残すことができました。

私たちの野球部は、これまでの高校、中学などでやっていた野球部とは違うことが多くあります。私たちの野球部では、部活のお金の管理、練習日、練習メニュー、戦略などすべてのことを自分たちで考えます。監督の作ったメニュー、戦略に従って練習、試合をするのではなく、自分たちのやりたい練習ができ、自分たちの作りたいチームを作ることができるということです。その自分たちで野球部を作り上げるということがとても新鮮で楽しく、やりがいがあります。

今年は、野球部に8名の新入生が入ってくれました。新入生歓迎の際にたくさんの野球部の魅力を伝えられたからこそ、野球部で大学生活を謳歌したいと思ってくれたのかと思います。タイトルにも書いた通り、心から野球を楽しめる部活であるなど日々感じています。私たちがそう思える環境にいることができるのは、いろいろな方々に支えられているからであることを忘れずに、感謝の気持ちをもって、楽しい野球部を、そして新たな仲間と共に新しい野球部の魅力をみんなで作っていきたいです。これからも応援よろしくお願いします。



編集発行 公立大学法人福島県立医科大学  
 事務局企画財務課  
 〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
 TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991